

# 長沼地区 住民説明会

国土交通省 北陸地方整備局  
千曲川河川事務所



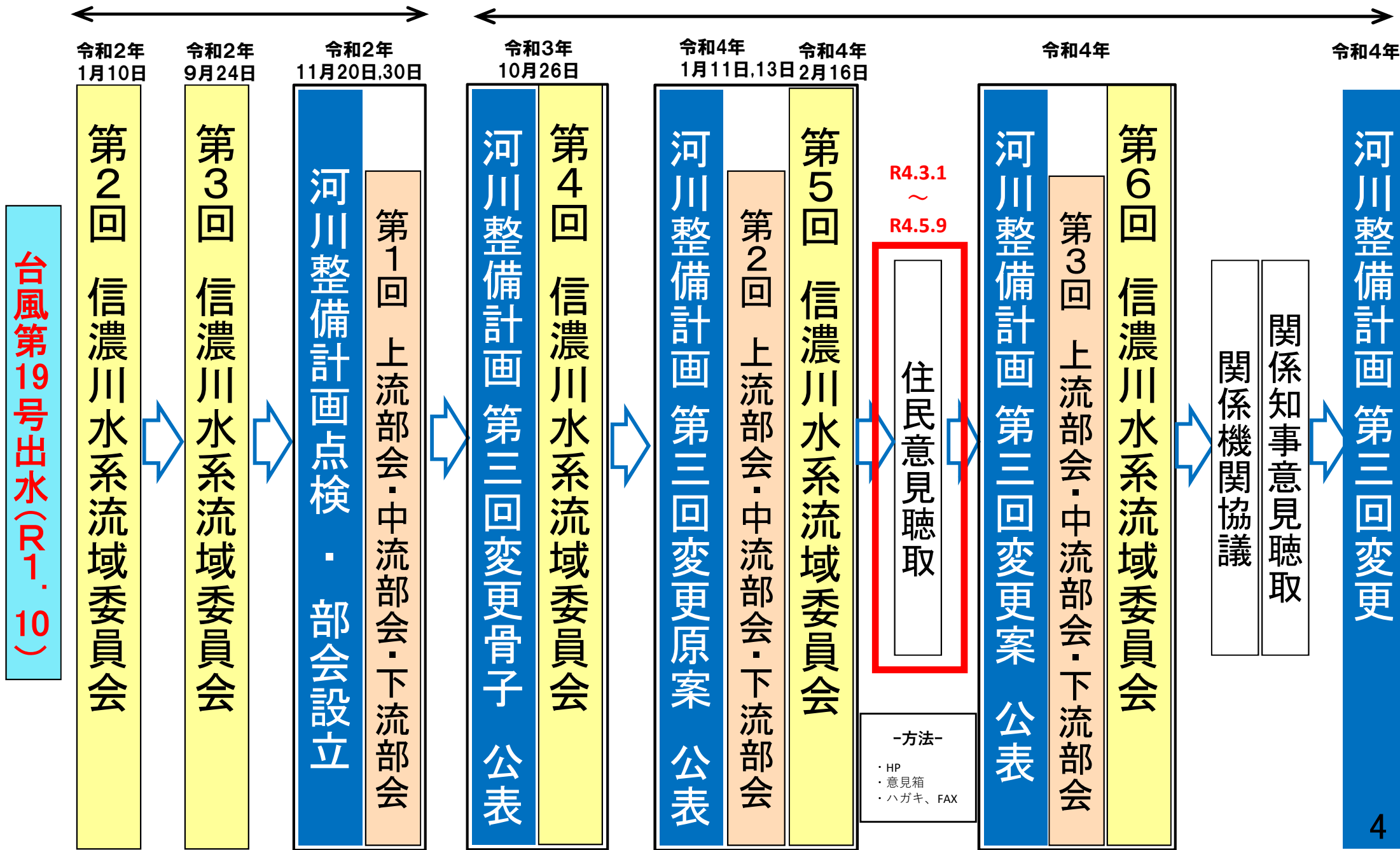
1. 信濃川水系河川整備計画の変更について . . . . . 3

2. 工事の進捗について . . . . . 20

# 1. 信濃川水系河川整備計画の変更について

## 令和元年出水概要、緊急治水対策P

## 河川整備計画の変更



- 「河川整備基本方針」は、長期的な河川整備の最終目標となるもので、河川の整備の基本となるべき事項を定めているもの。
- 「河川整備計画」は、河川整備基本方針に沿って計画的に河川の整備を実施すべき区間について、河川整備の目標や整備の内容を定めるもので、計画対象期間を20～30年程度としている。
- 現在行われている河川の整備は、「河川整備計画」で定めた目標に向けて実施している。

## 河川整備基本方針

### 長期的な河川整備の最終目標

#### <定める事項>

○当該水系に係る河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

○河川の整備の基本となるべき事項

・基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

・主要な地点における計画高水流量、計画高水位、計画横断形に係る川幅、流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

## 河川整備計画

### 河川整備基本方針に沿って定める具体的な整備の内容

(計画対象期間:20～30年程度)

#### <定める事項>

○河川整備計画の目標に関する事項

○河川の整備の実施に関する事項

・河川工事の目的、種類及び施行の場所

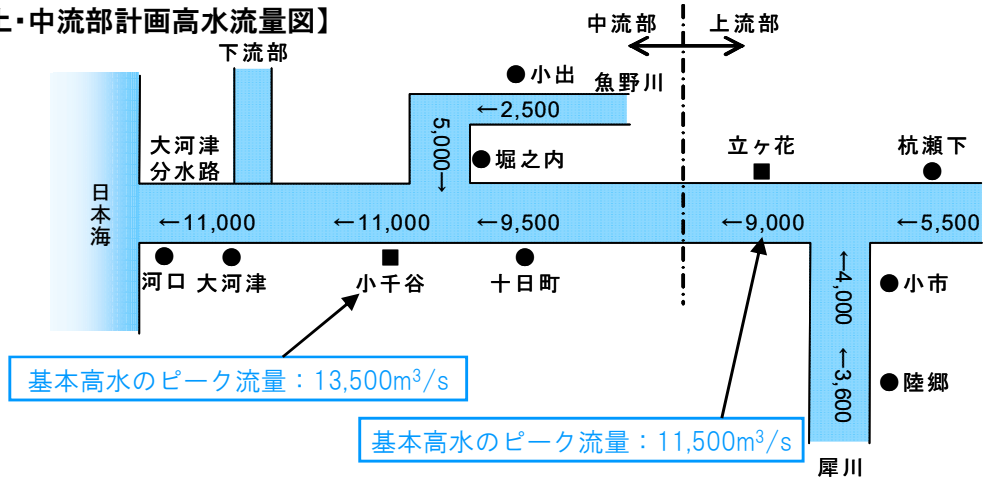
並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

・河川の維持の目的、種類及び施行の場所

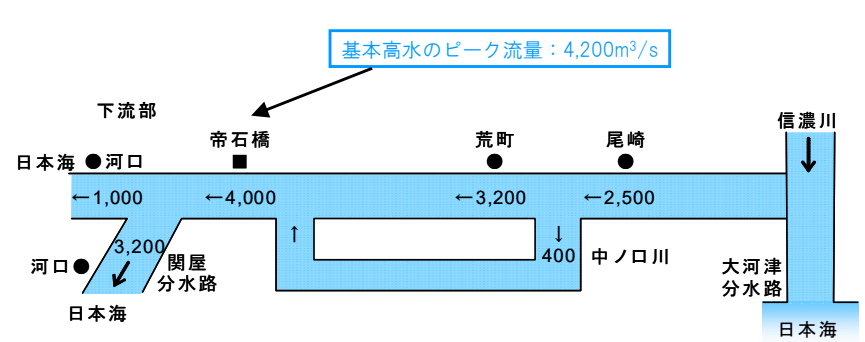
河川工事、  
河川の維持

○基本高水のピーク流量を上流部立ヶ花地点で11,500m<sup>3</sup>/s、中流部小千谷地点で13,500m<sup>3</sup>/s、下流部帝石橋地点で4,200m<sup>3</sup>/sとした。

【上・中流部計画高水流量図】

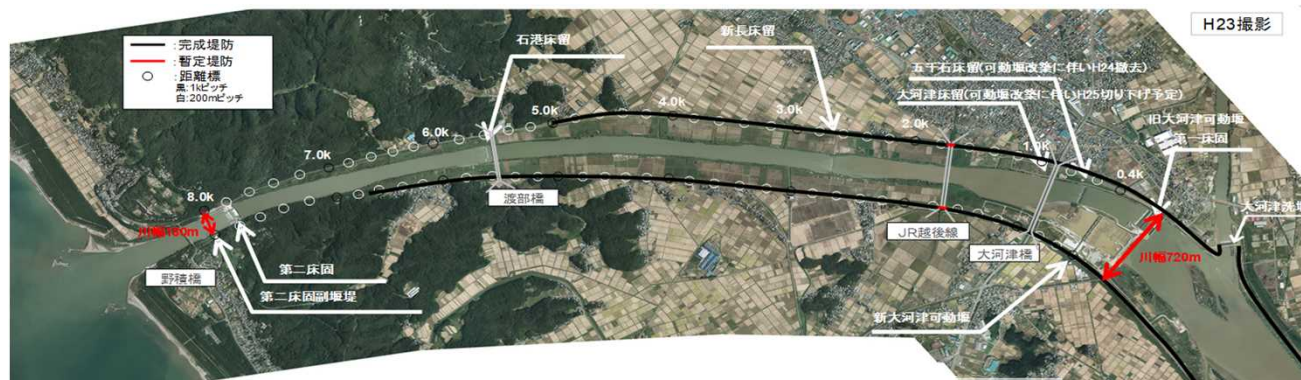


(単位：m<sup>3</sup>/s) 【下流部計画高水流量図】



## 治水対策の基本的な考え方

- 堤防の新築、拡築、河道掘削及び堰の改築等による河積の増大、護岸整備、堤防強化等を実施し、計画規模の洪水を安全に流下させる。
- 河道で処理できない流量については、流域内の洪水調節施設により洪水調節を行う。
- 上流部における立ヶ花や戸狩の狭窄区間においては、関係機関との連携・調整を図りつつ、適切な役割分担のもと、輪中堤や宅地の嵩上げ等により効率的に洪水被害の軽減を図る。なお、狭窄部の河道掘削にあたっては、指定区間も含めてその下流部への影響を考慮し、治水安全度のバランスを図りながら、適切に実施。
- 中流部においては、大河津分水路の拡幅等による抜本的な整備を実施。また、扇状地部や急流部における水衝部対策等のために護岸や水制等を整備。
- 下流部における河道掘削は、治水安全度が低い中ノ口川等の支川合流点付近の水位低下の効果があることから、支川も含めた流域全体の治水安全度向上に寄与する治水対策として実施。また、亀田郷や白根郷などのゼロメートル地帯を含む低平地は、自然排水が困難なことから内水被害の著しい地域になっており、関係機関と連携・調整を図りつつ、内水対策を実施。



大河津分水路改修(河口部に向かうにつれ川幅が狭まる)





# 信濃川水系河川整備計画【大臣管理区間】の概要

第2回信濃川水系流域委員会  
上流部会資料より抜粋

## 〔河川整備計画の策定：平成26年1月〕

本計画は、河川法の三つの目的が総合的に達成できるよう、河川法第16条に基づき、平成20年6月に策定された「信濃川水系河川整備基本方針」に沿って、河川法第16条の二に基づき、当面実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す法定計画である。

### 〔河川法の三つの目的〕

- 1) 洪水、高潮等による災害の発生の防止
- 2) 河川の適正利用と流水の正常な機能の維持
- 3) 河川環境の整備と保全

## 〔計画の対象区間〕

信濃川水系における国土交通省の管理区間(大臣管理区間)を対象とする。(図1のとおり)

### 〔水系の区分〕

- 上流部: 長野県内の千曲川流域
- 中流部: 新潟・長野県境から大河津分水路までの流域
- 下流部: 大河津分水路から下流の流域

## 〔計画の対象期間〕

本計画は、信濃川水系河川整備基本方針に基づき、河川整備の当面の目標及び実施に関する事項を定めるものであり、その対象期間は、計画策定時より概ね30年間である。

## 〔河川整備計画の変更：平成27年1月〕(第一回変更)

大河津分水路の拡幅形状等の案がとりまとまったことから、大河津分水路改修に関する附図を変更

## 〔河川整備計画の変更：令和元年8月〕(第二回変更)

前回変更以降の事業調整及び協議進捗、近年の豪雨に対する取組、整備完了箇所等の時点修正を踏まえて変更

計画対象区間位置図(図1)



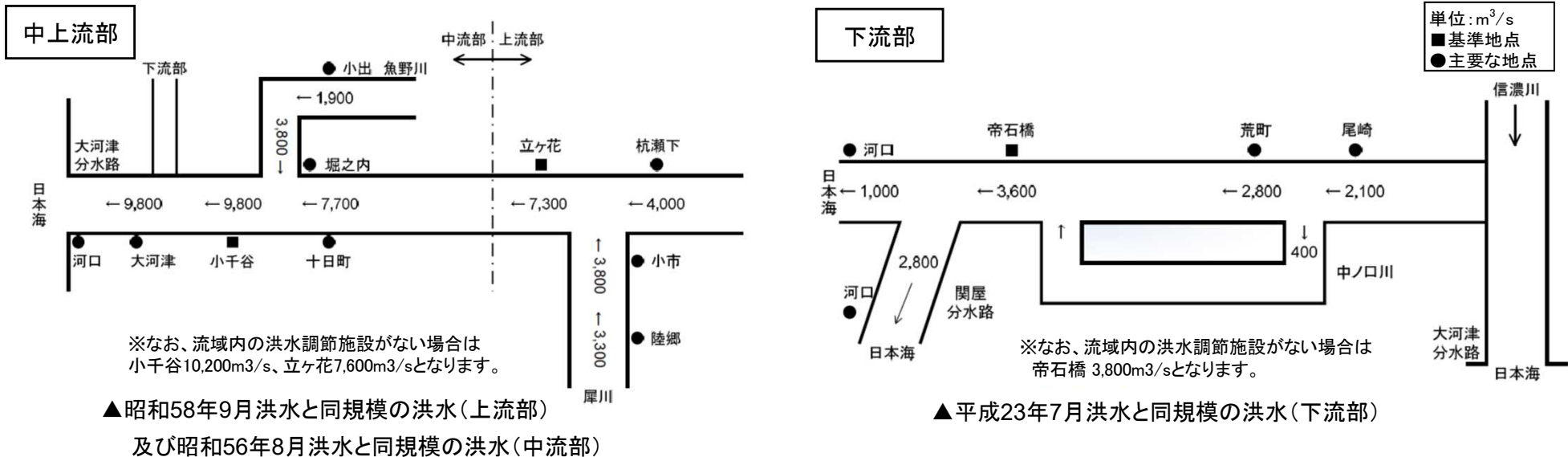


「北アルプスからの清流を湛え、豊穡な大地の礎をなす悠久なる大河信濃川を守り、活かし、未来に伝える川づくりを目指し、温暖化等、長期的な気候変動に注視しつつ、治水・利水・環境に係る施策を展開します。

## 〔洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標〕

### 〔災害の発生の防止又は軽減〕

- ・水系一貫となって災害防止・被害最小化を図る観点から、上下流、本支川バランスを確保し、県境区間や支・派川等の整備に関する情報を共有するなど、関係する河川管理者と連携を図りつつ水系全体として治水安全度の向上を図ります。
- ・河川整備基本方針で定めた目標に向けて、現在の河川整備状況、背後の利用状況、上下流、本支川の整備バランス等、総合的に勘案し、段階的かつ着実な河川整備を実施することで戦後最大規模の洪水に対し災害の発生の防止又は軽減を図ります。



### 〔河川管理施設の適切な維持管理〕

### 〔水防、避難に資する適切な情報提供等〕

## 〔河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標〕

- 〔流水の適正な利用及び正常な機能の維持〕
- 〔良好な水質の維持〕
- 〔保全な水循環系の確保〕

## 〔河川環境の整備と保全に関する目標〕

- 〔河川環境の保全及び生物の生息・生育・繁殖地保全〕
- 〔良好な景観の維持・形成〕
- 〔人と河川との豊かなふれあいの確保〕
- 〔河川空間の適正な利用と保全〕

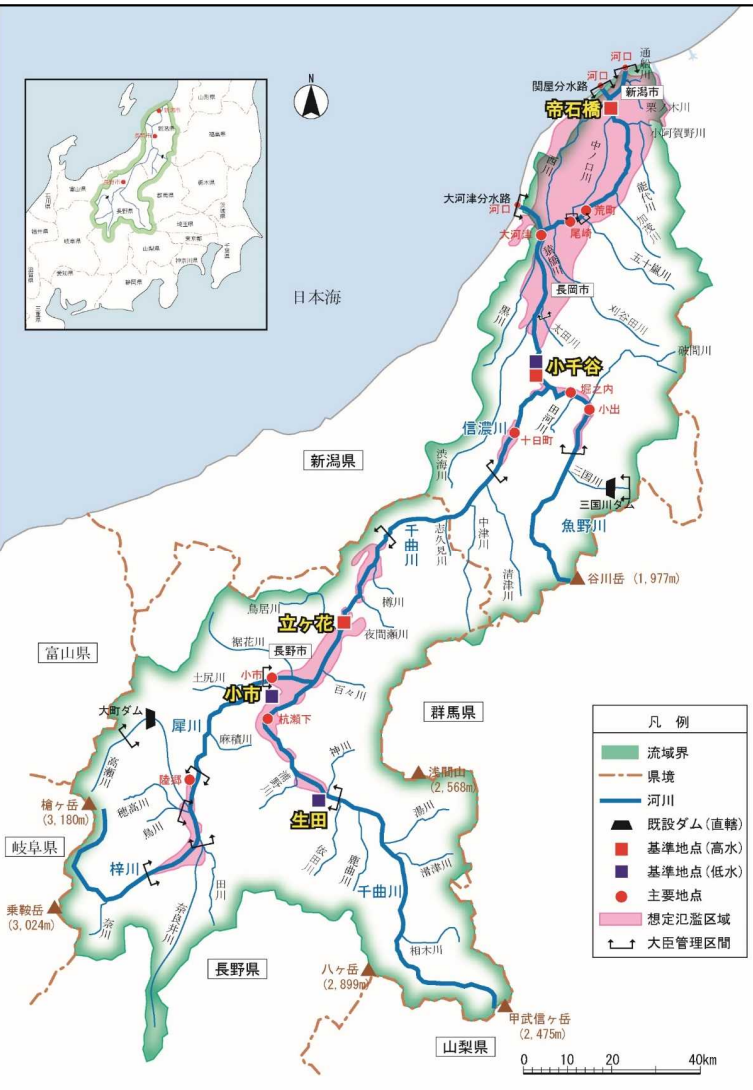
# 信濃川水系の河川整備イメージ(上中流の整備メニュー)

R2.7.13長沼地区住民説明会資料より抜粋

- 洪水の安全な流下対策は、河口部で洪水処理を担う大河津分水路の改修を優先的に進めるとともに、大町ダム等再編事業にて新たな洪水調節容量を確保し、信濃川上流(千曲川)、信濃川中流の安全性が段階的に向上するよう河道掘削、築堤の整備を実施。
- 河川の上流側の整備を行う際には、下流側の整備状況や支川の整備状況に配慮しつつ実施。

信濃川水系学識者会議第3回全体調整会議 説明資料(2012.3.13)より(一部加筆)

## 位置図



## イメージ図



# 信濃川水系の河川整備のロードマップ（信濃川水系流域治水プロジェクト）

- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの推進と合わせ、あらゆる関係者（国・県・市町村・企業・住民等）が協働して「流域治水プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト一体となった総合的な事前防災対策を加速。
- 千曲川においては「緊急治水対策プロジェクト」の事業期間をR9年度末とし、「河川整備計画」の対象期間を概ね30年間として、戦後最大洪水等による浸水被害を軽減するための整備を段階的に実施。

| 区分                  | 対策内容  | 実施主体                                     | 工程                                  |   |
|---------------------|---|--|-------------------------------------|---|
|                     |   |  | 短期                                  | 中長期   |
| 氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策 | 戦後最大洪水等による浸水被害を軽減するための河川改修、洪水調節施設整備等                                  | 千曲川(堤防整備・強化、河道掘削、遊水地整備、大町ダム等再編事業の推進等)    | 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト<br>大町ダム等再編事業      | 遊水地完成<br>土砂対策設備完成<br>洪水調節操作の実施条件が整い次第、治水効果を発現 |
|                     |   | 信濃川中流(堤防整備・強化、河道掘削、遊水地整備、大河津分水路改修事業の推進等) | 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト<br>大河津分水路改修事業     | 遊水地等完成<br>第二床固完成<br>事業完成                      |
|                     |   | 信濃川下流(堤防整備、河道掘削、小須戸橋架替事業の推進等)            | 小須戸橋架替事業                            | 小須戸橋架替、築堤完成                                   |
|                     | 排水機場、雨水貯留施設、排水ポンプ等の整備、田んぼダムの取組推進等                                     | 国交省、農水省、県、市町村                            |                                     |   |
|                     | 砂防関係施設の整備   | 国交省、県                                    |                                     |   |
|                     | 海岸保全施設の整備   | 国交省                                      |                                     |   |
|                     | 森林整備(※)・治山対策<br>※グリーンインフラと関連  | 林野庁、県、森林整備センター                           |                                     |   |
| 被害対象を減少させるための対策     | 「まちづくり」による水害に強い地域への誘導   | 県、市町村                                    |                                     |   |
|                     | 高床式住まい・住宅かさ上げ等の推進   | 市町村                                      |                                     |   |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 河川防災ステーション等の防災拠点の整備   | 国交省、市町村                                  |                                     | 河川防災ステーション(長沼地区/長岡地区/天野地区)完成                  |
|                     | マイ・タイムライン等の活用による防災知識の普及   | 国交省、県、市町村                                |                                     |   |
|                     | 要配慮者施設の避難に関する取組   | 国交省、県、市町村                                |                                     |   |
| グリーンインフラの取組         | 千曲川(自然再生、千曲川北信5市町かわまちづくり、千曲川×依田川地区かわまちづくり、千曲川×戸倉地区かわまちづくり、大石川かわまちづくり) | 国交省、県、市町村                                | 自然再生<br>かわまちづくり                     | 千曲川×依田川地区<br>千曲川北信5市町<br>千曲川×戸倉地区<br>大石川      |
|                     | 信濃川中流(魚道整備、多様な生物の生息環境への配慮、生態系ネットワークの形成)                               | 国交省、県、市町村                                | 多様な生物の生息環境への配慮<br>魚道整備(大河津分水路改修事業)等 | 越後平野生態系ネットワークの形成                              |
|                     | 信濃川下流(湿地環境の創出、水辺の賑わい空間の創出、生態系ネットワークの形成)                               | 国交省、県、市町村                                |                                     |   |



# 河川整備計画の変更: 目標設定の方向性 (洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標)

## 整備計画変更のポイント

### ①更なる治水安全度向上のための変更

- 戦後最大規模の洪水となった令和元年東日本台風（台風第19号）洪水に対し災害の発生防止又は軽減を図るため、整備目標の引き上げを実施。なお、目標設定にあたっては上下流、本支川バランスを確保した計画とする。
- 整備内容は河道掘削等の河道改修の推進と併せ、既設ダムを活用や遊水地の設置など、新たな洪水調節施設での対応を検討。

### ②現在の取組みを踏まえた変更

- 「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に関する取組みを追加

## ◆令和元年東日本台風(台風第19号)洪水に対し、災害の発生防止又は軽減

上流部（千曲川）では、上田市諏訪形地区で堤防欠損、長野市穂保地区で越水により堤防決壊が発生。中流部（信濃川中流）では、小千谷市、長岡市で浸水被害が発生。大河津分水路ではJR越後線橋梁の桁まで洪水位が到達したが、氾濫発生を僅かに逃れた。



千曲川堤防欠損状況(上田市諏訪形地先)



千曲川堤防決壊状況(長野市穂保地先)



信濃川浸水状況(長岡市今井地先)



大河津分水路増水状況(JR越後線橋梁)

## ◆上下流バランスのとれた治水安全度の更なる向上

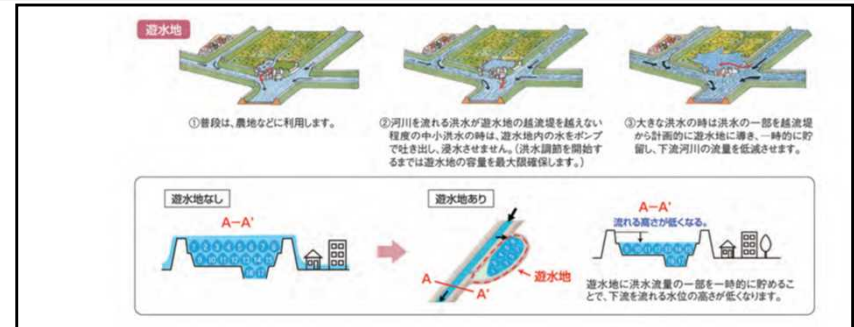
中流部（信濃川中流）では、大河津分水路を含む長岡市等の河道掘削を行い、上流部（千曲川）では、立ヶ花、戸狩狭窄部の掘削や既設ダムを活用や遊水地の設置により洪水時の水位の低下を図り、水系全体のバランスを確保しながら全体として洪水処理能力を段階的かつ着実に治水安全度を向上します。



信濃川・大河津分水路を望む



千曲川 立ヶ花狭窄部を望む



遊水地のイメージ

## 信濃川水系河川整備計画変更のポイント

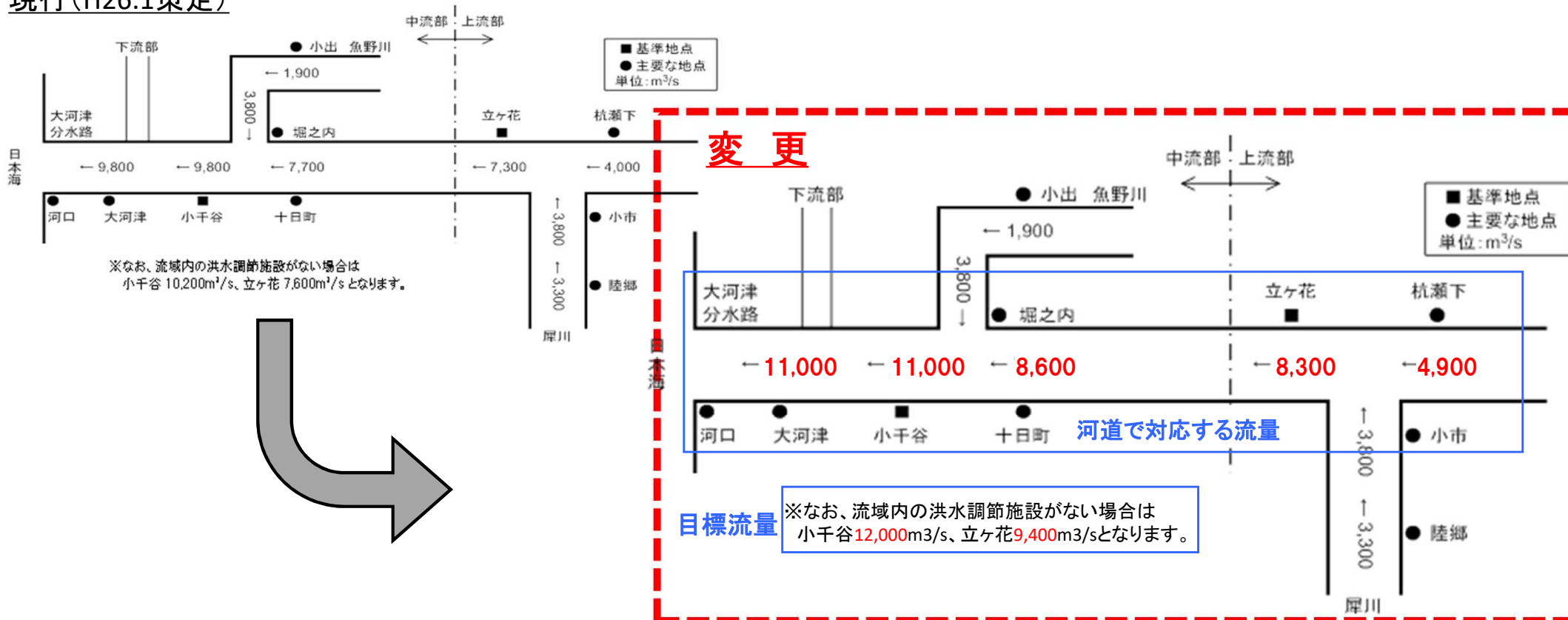
### ① 令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し

- ◆ 現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。  
将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとする。
- ◆ 河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討。

### ② 流域治水を踏まえ治水対策案を見直し

- ◆ ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。

現行(H26.1策定)

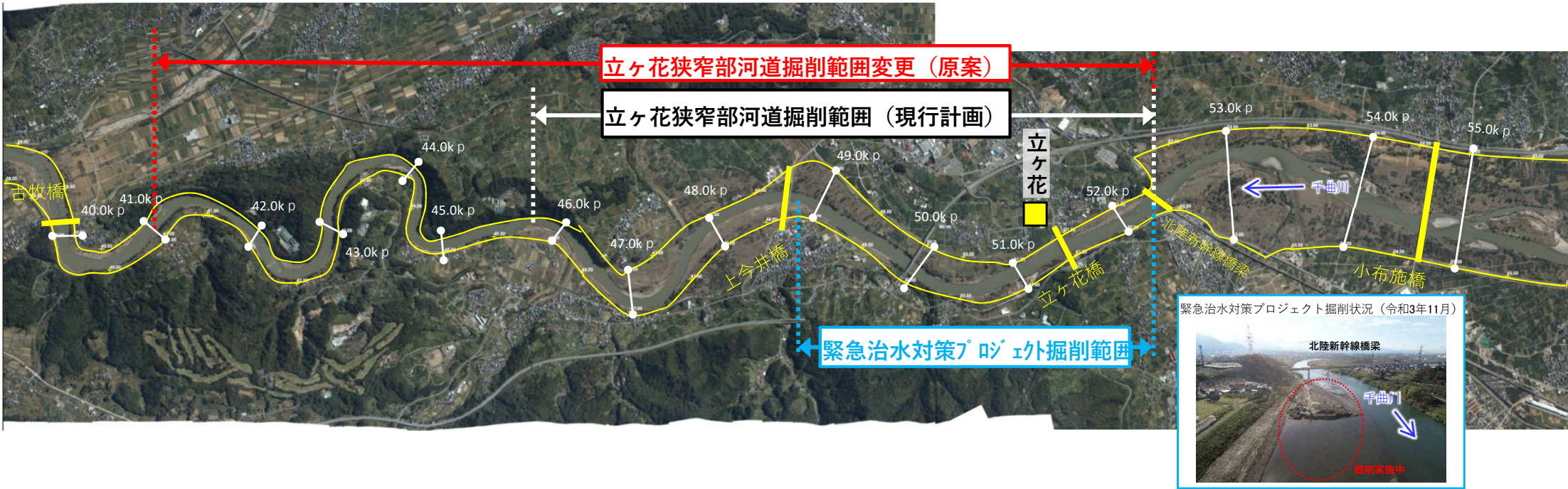




## 狭窄部の河道掘削(上流部) 【事業箇所追加】

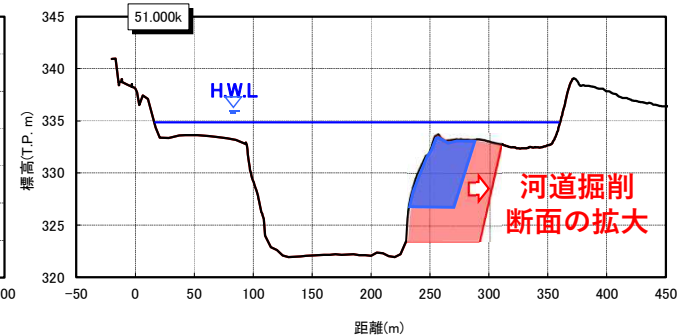
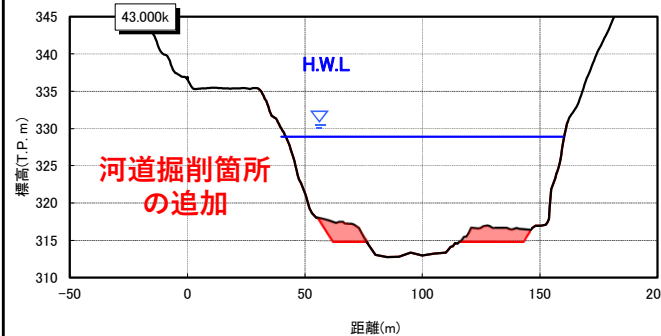
※変更(原案) P71

- 狭窄部のせき上げにより、洪水時の水位が高い狭窄部上流区間の水位低下を図るため、立ヶ花狭窄部内の河道掘削の事業区間を延伸及び掘削断面の拡大を実施。
- 上下流バランスや水位低減効果を考慮し、段階的な掘削を行い、河川整備計画期間内に目標の達成に必要な河川断面を確保する。



航空写真(立ヶ花狭窄部)

### <断面図イメージ>



- 【凡例】
- 緊急治水対策プロジェクト掘削断面 (Blue box)
  - 変更(原案)掘削断面 (Red box)

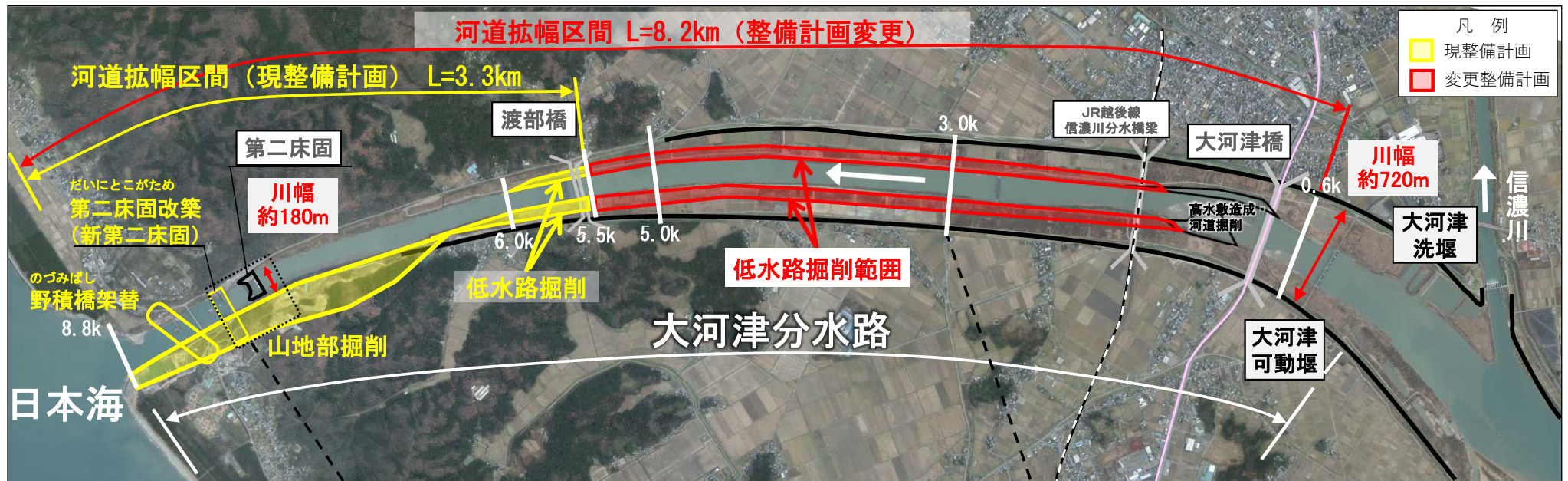
※掘削形状は、詳細な調査により変更となる場合があります。 13



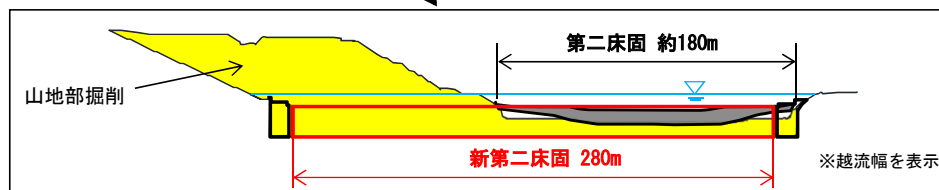
大河津分水路 【河道拡幅区間の変更】

※変更(原案) P74

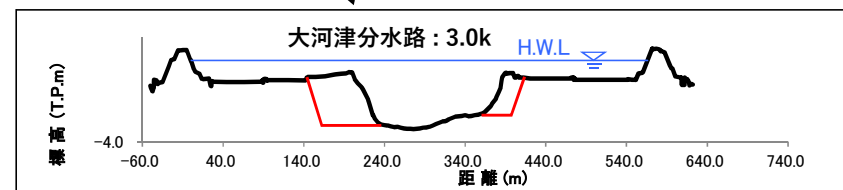
- 大河津分水路の河道拡幅は、現河川整備計画では策定当時の目標（当時の戦後最大規模である昭和56年8月洪水と同規模の洪水）に対して家屋の浸水被害の防止又は軽減を図ることを目的に、河口部の延長3.3kmの区間としていた。
- 今回の河川整備計画の変更により、新たな目標（戦後最大規模である令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水）に対して家屋の浸水被害の防止又は軽減を図るため、河道拡幅区間の延長を3.3kmから8.2kmに変更。
- これに伴い、低水路掘削区間の追加等、河川整備計画における実施内容を変更。



大河津分水路平面図



横断面図 (新第二床固付近)



横断面図 (大河津分水路 3.0k 付近)



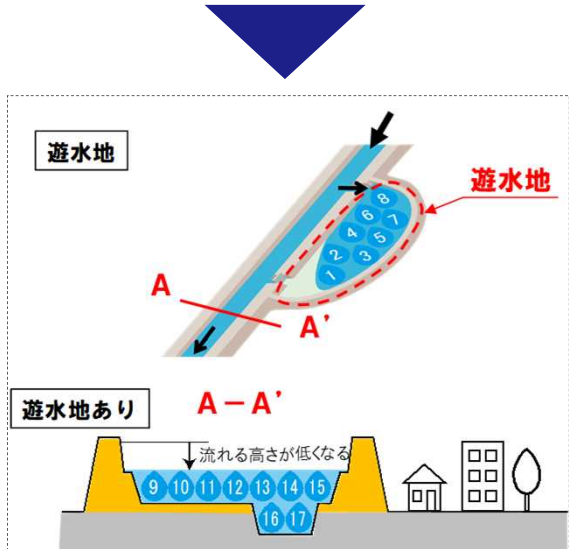
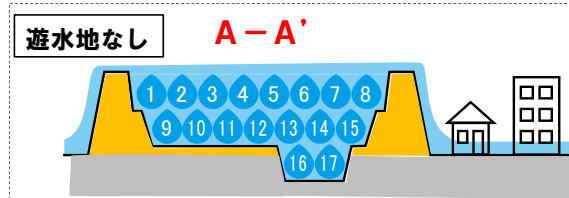
## 遊水地の整備(上流部・中流部) 【事業内容の追加】

※変更(原案) P75

- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風における甚大な被害を受け、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めており、上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、水位低下を目指し、河道掘削及び遊水地の対策を進めている。
- 信濃川水系千曲川(直轄管理区間)では「5箇所」、信濃川水系信濃川(直轄管理区間)では「2箇所」の遊水地整備を実施することとしている。

### 遊水地整備の効果

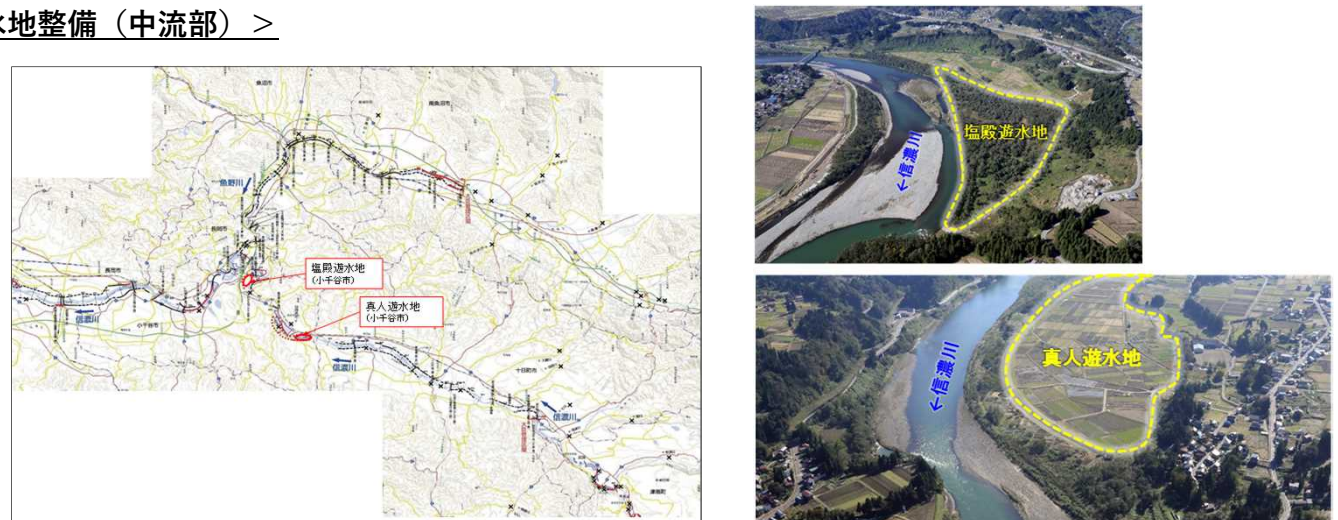
- 遊水地とは、**洪水になったときに川の水を一時的にためる施設**。
- 遊水地で水をためることで、**下流へ流れる洪水が減り、浸水などの被害を減らす効果**がある。



### < 遊水地整備(上流部) >



### < 遊水地整備(中流部) >





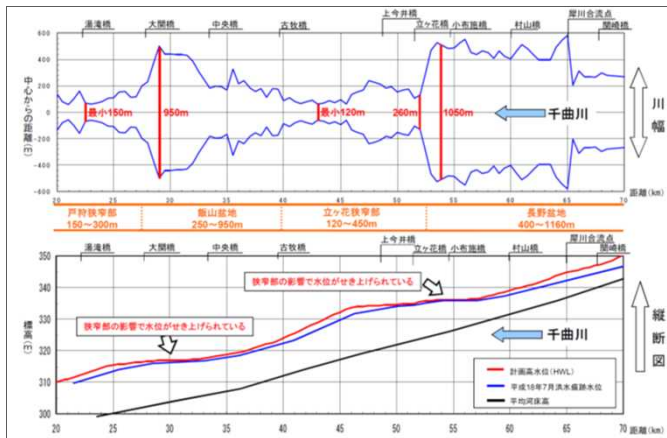
## 粘り強い河川堤防等の整備(上流部) 【事業内容の追加】

※変更(原案) P76

■信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風における甚大な被害を受け、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めており、上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、水位低下を目指し、河道掘削及び遊水地の対策を進めているところであるが、地形的要因のため、越水の危険が内在し、決壊した場合に甚大な被害が発生する区間において、粘り強い河川堤防等を減災対策として整備する。

### <粘り強い河川堤防の整備(上流部)>

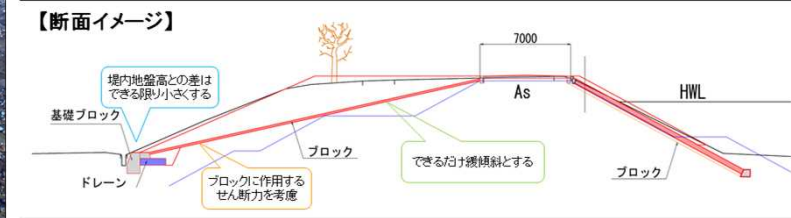
洪水時に立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、粘り強い河川堤防を減災対策として整備。



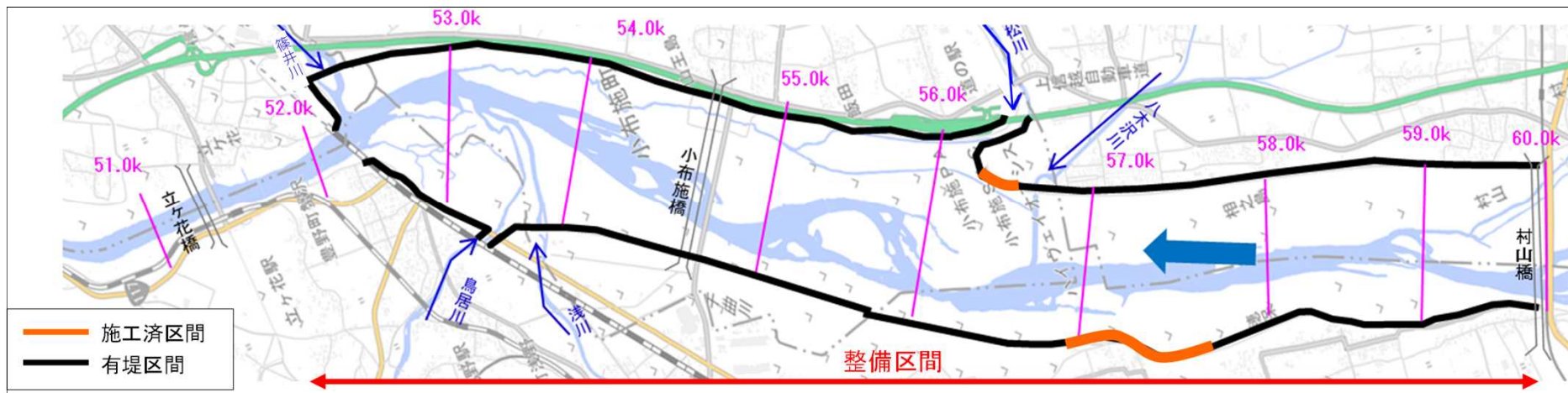
地形的特徴(狭窄部)



航空写真(立ヶ花狭窄部)



粘り強い河川堤防 断面イメージ



粘り強い河川堤防 施工範囲



## 河川防災ステーションの整備(上流部・中流部) 【事業箇所追加・具体化】

※変更(原案) P76~77

- 信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の活動拠点となる河川防災ステーションの整備について、現行整備計画の3箇所新たに上流部の「長沼地区(長野市)」「飯山地区(飯山市)」を追加する。
- 令和元年東日本台風に伴う洪水により、家屋等の浸水被害が発生したため、長沼(長野市)・長岡(長岡市)の河川防災ステーション整備を進めているところ。

### <長沼地区河川防災ステーション(上流部)> ※整備箇所追加

長野市と連携し、千曲川において河川防災ステーション整備に着手。洪水発生時の迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図る。



長沼地区河川防災ステーション整備イメージ



複合施設イメージ(長野市)  
※水防センター兼長野市長沼支所



登録伝達・確認書調印式を実施【令和3年4月16日】

### <長岡地区河川防災ステーション(中流部)> ※整備内容具体化

信濃川中流において、令和3年度から長岡市と連携し河川防災ステーションの整備に着手。洪水発生時の円滑かつ迅速な水防活動、緊急復旧活動を実施する体制を強化。



登録伝達・確認書締結式を実施【令和3年4月16日】



## かわまちづくり(上流部) 【取組内容の追加】

※変更(原案) P91

- 広域観光ルートの構築、歴史文化の伝承、未来へ繋げる関係人口の育成等により、広域観光の推進と地域活性化を図るため、各市町村の水辺拠点で親水護岸、管理用通路を整備。
- 現在行われている水辺アクティビティやスポーツイベントでの広域な連携、さらにアウトドア民間事業者や鉄道事業者とのタイアップによる広域観光ルートの構築を自治体及び関係機関と連携し、推進。

### 具体事例

#### 【千曲川北信5市町かわまちづくり】

平成31年(2019年)3月8日 かわまちづくり計画 登録認定

#### ◆ 広域連携による観光ルートの構築

5市町を繋ぐ千曲川を活用し、各市町の水辺拠点を整備するほか、現在行われている水辺アクティビティイベントの広域な連携、さらにアウトドアメーカーや鉄道事業者とのタイアップを推進する。

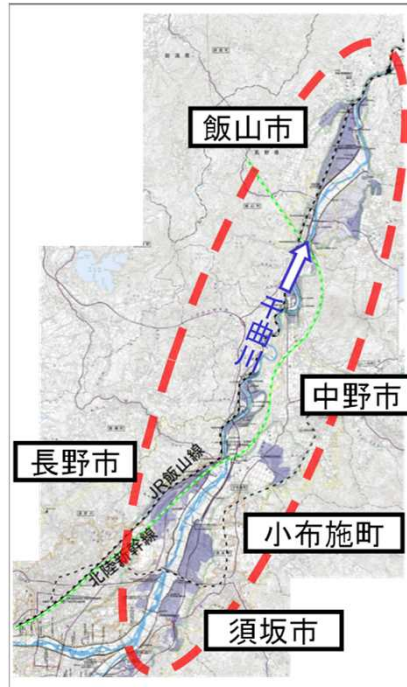
#### ◆ 未来へ繋げる関係人口の創出

石碑や遺跡施設の周辺整備、未来を担う子ども達を対象とした水辺体験を通じた活動を充実させる。



足立飯山市長 加藤長野市長 市村小布施町長  
木村事務所長 池田中野市長 三木須坂市長 松原河川部長

平成31年4月25日 登録証伝達式



### 下流地区(飯山地区)

まちの既存施設(JR飯山駅、道の駅)の利用と、河川空間(水辺のアクティビティ、菜の花公園、渡し船)の利用を結びつけ、相互の利用を促進。

### 中流地区(小布施地区)

既存施設(観光地、道の駅、堤防桜づつみ)の利用に加え、河川空間で軽トラ市等を開催。まちの賑わいを水辺まで拡大。

### 上流地区(長野地区)

既存施設(運動公園)に隣接した河川空間の整備により、水辺のアクティビティ利用を促進。



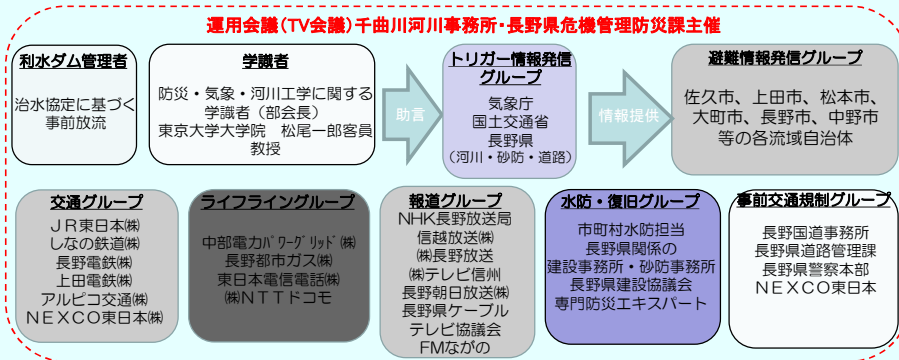
## 各種タイムラインの運用(上流部) 【取組内容の追加】

※変更(原案) P107

- 千曲川流域に着目した「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」を、令和2年9月より試験運用を開始。93の構成機関が一堂に会した「運用会議」を開催し、流域全体で危機感を共有し早期の対応を実施できる体制を構築。
- 千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインと連動した「コミュニティタイムライン」(地域単位の避難計画)の策定により早期の防災行動に取り組む。
- 「逃げ遅れゼロ」を目指すため、マイ・タイムライン講習会(住民向け・自治体職員向け等)を実施。

### 【流域タイムライン】

・・・流域の関係機関と危機感を共有し、住民に対して早めの避難行動を促進。



#### <令和3年8月出水における対応>

陸郷水位観測所では**氾濫危険水位**  
立ヶ花水位観測所では**避難判断水位**  
その他全水位観測所では**氾濫注意水位**を超過  
本出水において、記録的な大雨になるおそれがあったことから「運用会議」を開催し、危機感の共有を図った。

- ①8月12日 流域警戒ステージⅡに移行を決定
- ②8月13日 流域警戒ステージⅢに移行を決定
- ③8月16日 流域警戒ステージⅣの継続を決定  
翌17日からの再度の大雨に対する危機感共有
- ④8月17日 降雨状況・見込みの共有



千曲川河川事務所

| 時期区分      | 防災行動の目標           |
|-----------|-------------------|
| 流域警戒ステージⅠ | 災害の危険性に注意を向ける     |
| 流域警戒ステージⅡ | 防災対応の方針を決定する      |
| 流域警戒ステージⅢ | 防災対応を開始する         |
| 流域警戒ステージⅣ | 上下流を連携した防災対応を実施する |



各構成機関

WEB会議

### 【コミュニティタイムライン】

・・・国、自治体、地域住民の協働で作成する、地域単位での避難行動計画を作成。

- 令和2年10月13日(令和元年東日本台風による被災から1年後)長野市長沼地区にてコミュニティタイムラインの策定に着手。今日まで計9回の座談会を実施。
- 長沼地区コミュニティタイムライン検討機関【長沼地区住民自治協議会】  
自主防災会・各区分長・消防分団・民生児童委員・防災指導員・長野市長沼支所  
【アドバイザー】  
東京大学大学院 松尾一郎客員教授  
長野市総務部危機管理防災課  
千曲川河川事務所



コミュニティタイムラインの取組(長野市長沼地区)

### 【マイ・タイムライン】

・・・自分自身がとる避難行動計画を整理・作成。

- <千曲川河川事務所での取り組み>
  - 自治体職員及び住民向けの講習会を実施することでマイ・タイムラインの作成を支援
  - 令和3年度は、坂城町で住民向け講習会を実施。
  - 教職員向けに学校の避難行動計画を作成支援のためのマイ・タイムラインを活用した講義を実施
- <流域自治体での取り組み>
  - 流域の自治体(中野市、長野市、安曇野市等)では独自のマイ・タイムライン作成の取り組みが行われている。



住民向けマイ・タイムライン講習会(坂城町)



## 2. 工事の進捗状況について

# 工事の進捗状況について 1/6 ※左岸側

## <左1> 千曲川穂保地区堤防強化工事

【受注者】株式会社 加賀田組  
 【場所】長野県長野市穂保地先  
 【工期】令和3年7月1日  
 ~令和4年9月20日

21.1  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側堤防のり面の掘削が完了しております。
- 川表側の法覆護岸工を下流側から順次施工しています。(護岸基礎工⇒隔壁⇒遮水シート張⇒裏込砕石⇒大型ブロック張)
- 川裏側のり面の表土を掘削しています。
- 川裏側の道路付属物等を撤去しております。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左2> 千曲川津野地区堤防強化工事

【受注者】株式会社 浅沼組  
 【場所】長野県長野市津野地先  
 【工期】令和3年7月1日  
 ~令和4年7月29日

32.1  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側法面の大型ブロックの施工が約90%完了しました。大型ブロック施工完了後、ブロックに覆土を行います。
- 川裏側は、基礎工事が約50%完了しました。引き続き掘削工事と基礎工事を継続して行います。法面の施工が完了次第、ブロック張りを開始します。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左3> 千曲川赤沼地区堤防強化工事

【受注者】株式会社 植木組  
 【場所】長野県長野市赤沼地先  
 【工期】令和3年7月1日  
 ~令和4年8月31日

39.2  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 川表側大型ブロック張を300m施工を行っております。川表側の大型ブロック張については、ブロック張が完了次第に坂路の造成や覆土などの施工を行っていきます。
- 川裏側については、基礎を300m設置致しました。引き続き、2次掘削を行って行きます。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左4> 赤沼地区堤防強化工事

【受注者】中信建設株式会社  
 【場所】長野県長野市赤沼地先  
 【工期】令和3年7月1日  
 ~令和4年8月26日

49.3  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

- 高水敷への坂路を除く大型連節ブロックの据付がほぼ完了しました。
- 現在、工事区間上流部の大型谷積みブロックの施工に着手しています。



現地施工状況①



現地施工状況②



# 工事の進捗状況について 2/6 ※左岸側

## <左5> 飯田地区(左岸)堤防強化工事

【受注者】 藤森建設工業株式会社  
 【場所】 長野県上高井郡  
 小布施町飯田地先  
 【工期】 令和3年7月1日  
 ~令和4年9月9日

44.0  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

○先月に引き続き、法覆護岸工:連節ブロック張の施工を行っております。  
 ○今後においては、連節ブロック張の施工を行うと共に、樋管周りや坂路部、小布施橋周辺の施工も行っていく予定です。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左6> 吉島地区堤防強化その1工事

【受注者】 株式会社 北條組  
 【場所】 長野県上高井郡  
 小布施町吉島地先  
 【工期】 令和3年7月1日  
 ~令和4年8月31日

32.0  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

○先月に引き続き、上流側から下流側へと河川土工及び法覆護岸工(コンクリートブロック)の施工をしています。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左7> 吉島地区堤防強化その2工事

【受注者】 株式会社 北條組  
 【場所】 長野県上高井郡  
 小布施町吉島地先  
 【工期】 令和3年7月1日  
 ~令和4年8月31日

24.2  
%

現在の進捗率  
※令和4年3月31日(時点)

現在の進捗(令和4年3月末時点)

○工事は、国道18号から上流に150mの堤防の千曲川側の掘削と、浅川排水機場から上流に向かって堤防の法面にコンクリートブロックを張る作業を行っています。



現地施工状況①



現地施工状況②

## <左8> 千曲川大町地区堤防強化工事

【受注者】 株式会社 植木組  
 【場所】 長野県長野市大町地先

ただいま工事の準備中です。  
 準備が整い次第、工事を開始します。



<左1>千曲川穂保地区堤防強化工事

令和4年4月撮影



<左2>千曲川津野地区堤防強化工事

令和4年4月撮影





# 工事の進捗状況について 4/6 ※左岸側

<左3>千曲川赤沼地区堤防強化工事

令和4年4月撮影



<左4>赤沼地区堤防強化工事

令和4年4月撮影





# 工事の進捗状況について 5/6 ※左岸側

<左5> 飯田地区(左岸)堤防強化工事 令和4年4月撮影



<左6> 吉島地区堤防強化その1工事 令和4年4月撮影





＜左7＞吉島地区堤防強化その2工事

令和4年4月撮影



立ヶ花地区河道掘削工事

着手前: 令和2年2月撮影



ステップ1完成後  
: 令和4年3月撮影



